

第16期 平成28年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)協働のまちづくり支援(専門家派遣) ※継続

ー浜松市市民協働センターが行うワークショップの運営を支援するとともに、企画提案書の作成に関する協力を行った。

(2)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援(自主事業) ※継続

ー住民ネットワーク協議会の遠州側の世話人代表として世話人会に参加した。(山内)
 ー三遠南信サミット2016in南信州(2/15月曜日)開催の住民セッションの企画・運営及びサミットの開催に協力した。

(3)浜松市UD協働事業 市民UDワークショップの企画・運営 ※新規

ー浜松市のUD計画に市民の意見を吸い上げるため、市担当課と協働事業として、UDを考える「市民ワークショップ」を企画・運営、意見集約した。

ーワークショップは2回開催

・ファシリテーター研修会 8月21日(日)14:00~17:00
 浜松市市民協働センター

・第1回WS 9月11日(日)13:30~16:30 浜松市市民協働センター

・第2回WS 9月25日(日)13:30~16:30 浜松市市民協働センター

ーファシリテーターは、浜松市市民協働センターが実施した「ファシリテーター養成講座受講者」の中から募集し、市民協働センターの職員もそのサポートに入って実施した。



2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務(委託業務) ※継続

①浜名湖情報交流事業(通年)

- 活動団体の情報収集(広報誌等の取材を兼ねる)
- 広報誌作成、配布(3回発行)
- ブログ及びFaceBookを配信
- その他、イベント案内を登録団体にメールリスト配信した

②浜名湖環境教育プログラム実施業務(浜名湖エコキッズ体験塾2回)

親子体験型の環境学習会を開催した。

○第1回7/16(土):村楠(アマモ場の生き物観察、アマモ回収作業体験ほか)

○第2回7/30(土):湖西市知波田(今川流域の水生生物の観察、里山の自然体験、水質検査体験)

③浜名湖環境保全団体アンケート調査

浜名湖の環境保全に取り組む団体(はまなこ環境ネットワーク登録団体70団体)に対し、郵送によるアンケートを行い、連携に必要な支援に関する調査を行った。

④浜名湖環境保全団体交流会（1回）

浜名湖の環境保全団体による交流と今後の連携に関する意見交換を行った。

○日時・場所 3/11（土）0Mソーラー社屋「地球のたまご」

○参加者 27名

○内 容

－環境の保全・活用に関する講演、話題提供（三河湾のみなと塾、浜名湖サイクルツーリズム推進会議）

－環境ネットワークの活動報告、環境保全団体のアンケート結果報告

－環境保全団体によるワークショップ形式の意見交換会



(2) 浜名湖アマモ利用プロジェクト(はまなこ環境NW事業・自主事業)

－浜名湖のアマモ・アオサ（海草）に関する循環の仕組みづくりを継続し、湖岸に漂着したアマモ等を畑の堆肥として活用し、市民啓発と協働による再利用の取組を行った。

○7/16（土）アマモ回収作業（村櫛海岸）※浜名湖エコキッズ体験塾の活動として実施

○9月25（日）アマモを堆肥としてすき込んで野菜の種まき（浜松市西区村櫛町）

○12月17（土）アマモ堆肥で育てた野菜の収穫（浜松市西区村櫛町）

○10月 庄内小学校「アマモ利用の野菜づくり学習（授業）」への指導



(3) 天竜川 河輪町「水辺の楽校」5周年記念プロジェクトへの支援(自主事業) ※継続

－国土交通省が天竜川（浜松市南区河輪町）に整備した「水辺の楽校」が整備されて5周年記念になり、そこを維持管理する地域のNPO法人水辺の里づくりが、地元自治会や学校、国や河川協力団体（NPO法人浜松アメニティクラブ）と連携して行った5周年イベントを開催し、実行委員会に参加して助言・運営協力した。

－イベント事業費や河川の維持管理の活動費を「クラウドファンด์：カワサポ」で資金を集める実験を行った。

○8/27（土）天竜川河輪町「水辺の楽校」宵祭りイベント



3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

①朝霧地区景観形成ワークショップ会議

- ー7月 今年度の活動内容の検討ワークショップ
- ー10/19 (水) 朝霧地区ゴミゼロ活動 (啓発)、景観プチメンテナンス
- ー3月 今年度の取組報告、次年度の方向性の検討ワークショップ



②HPの維持管理

③ぐるり富士山風景街道一周清掃2016の企画・調整・実施

- ーぐるり富士山一周清掃月間：10月1ヶ月間
- ー重点区間清掃：10/1 (土) 静岡県側 朝霧高原 参加者約300名

④ぐるり富士山サイクルネット研究会の立上げ、研究会の開催

※ぐるり富士山サイクルネット研究会の実施は国の役務事業で実施

(2)道の駅を拠点とする風景街道広報資料作成業務(役務) ※継続

- ーぐるり富士山風景街道やぐるり富士山トレイルを紹介するポスターを作成し、風景街道の関係団体に配布するとともに、ぐるり富士山エリアの道の駅に掲示した。
- ー静岡県・山梨県の富士山周辺サイクリングのネットワーク化「ぐるり富士山サイクルネット」を組織し、サイクリング環境の勉強会としてサイクリングの受入れ環境を研究した。
- ー2峠6宿風景街道として「道の駅」宇津ノ谷で道のエコミュージアムのPRコーナーの充実を図るため、英語版のパンフレットを作成した。



(3)富士山の包括的な道路景観管理社会実験の継続検証(自主事業・役務)※継続

- ー住民や地域の事業者、来訪者、富士山を愛する人などが富士山の景観を維持するための「道路の景観管理」の仕組みづくり (H26年度社会実験) の定着化のための取組みを行った。当NPOは富士山朝霧高原景観管理協議会の事務局としてその企画・調整運営と事務局など中核的な業務を担った。
- ー景観管理活動：第1回目の除草 7/3 (土) 根原区/7/18 (月・祝) 猪之頭区、麓区
8/2~3 富士丘区 (1回)・国道沿道の地主等が実施
- 第2回目の除草 9/25 (日) 猪之頭区、麓区、10/1 (土) ぐるり富士山風景街道一斉清掃で一般・高校生による草刈・清掃



一 国の道路協力団体制度の登録団体にエントリー
道路協力団体第1号に指定 (H29. 12月)

一 企業からの寄付金

一 読み終えた本による「BOOK募金」の継続

一 その他、寄附金付の販売事業の研究



(4) 国道138号景観形成ワークショップ(自主事業+委託)※継続

一 富士山の山麓を走る国道138号の景観の向上を目指して、住民・事業者・行政等が協働して活動を企画・検証するワークショップを企画・運営した。

一 対象地は国道138号の小山町須走地区及び御殿場 (IC~R246までの間) の2ヶ所。

一 現場で道路景観形成の具体的な活動を実施した。

<小山町> 3回実施

- ・ 9/2(金) 第1回 ワークショップ会議
- ・ 10/29(土) 第2回 プチメンテナンス (ガードレール塗装) ※途中雨天のため作業中止
後日、国・町職員と一緒にガードレール塗装・修正作業
- ・ 1/12(水) 第3回 ワークショップ会議 (今年度の活動報告、次年度の活動計画検討)

<御殿場市> 3回実施

- ・ 6/7(火) 御殿場IC前の国道138号で花の植え替え、草刈作業を実施。(自主事業)
参加者約40名
- ・ 9/7(水) 第1回 ワークショップ会議 (今年度の活動計画検討)
- ・ 11/17(火) 第2回 御殿場IC前の花プランター植替え、草取り活動
参加者74名
- ・ 1/25(水) 第3回 ワークショップ会議 (今年度の活動報告、次年度の活動計画検討)

<御殿場市 国道138号東山地区美化の会の設立支援>

- ・ 6月16日、10月9日話し合い
- ・ 平成29年6月10日 ボランティアサポートプログラム締結、花の植替え



(5) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託) ※継続

－東海道2峠6宿を地域の道ブランドにしていくためにまち歩きに関する情報提供、環境整備等を行っていく。

- ①組織の運営：静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)
○7/19(火)に総会の実施
- ②運営資金の確保：駿河歩人パスポートの売り上げ
- ③ウォーカーへの情報発信：HPの維持・解説マップの増刷
・由比+薩埵峠/江尻宿+清水湊/丸子宿+宇津ノ谷峠
- ④2峠6宿情報発信
○「遊びにおいでよIN宇津ノ谷」の実施

(6) 清水次郎長生家の管理運營業務(補助事業) ※継続

－清水次郎長生家を保存するため、静岡市より補助を受けて管理運営を行った。

- ①3名のパート職員による管理運営(施設管理、説明、物産販売)
○新商品の開発：開運帳
○県、市のイベント事業の参画・学校、民間団体、取材等の受入れ：30件以上
- ②生家リニューアル建築設計、整備事業
・次郎長生家耐震改修工事の実施 1月11日起工式～6月30日工事終了
・「次郎長生家を活かすまちづくりの会」をNPO法人の取得
・静岡市基金からの助成金(NPO法人次郎長生家を活かすまちづくりの会)
- ③登録有形文化財への申請
・平成29年度に取得予定(文化庁審議官視察5月に実施)



(7) 小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり地域活性化事業(補助) ※新規

－小山町 須走まちづくり協議会が文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」の補助金を受け、富士浅間神社を中心に「巡拝の道」ルートの設定し、現代版の富士講の“行”が体験できる環境やシステムの構築を図る事業で、この事業の実施協力を行った。

- ①巡拝の道検討委員会の実施・・・(3回)
- ②巡拝の道ルート設定・・・(現地調査を含む)
- ③情報発信ツールの整備・・・(パンフレット、広域マップ、詳細マップの作成(日本・英語・中国)HPなど⇒インバウンド資料作成) 木札
- ④モニターツアーの実施・・・(11月13日 日曜)
－250名の応募40名、

⑤ 巡拝の道フォーラムの開催・・・（3月5日日曜日）

⑤ ガイド講習会の実施・・・（2月11日土曜日）



(8) 三遠南信祭り街道資料作成業務(遠州) ※新規

ー三遠南信自動車道を活用し、地域が“祭り”をテーマに連携するため、三遠南信地域（遠州・奥三河の一部）をエリアとする民俗芸能や地域資源を祭り街道と称して紹介するマップを作成した。

ー道の駅で「祭り街道」のPR・情報提供に関するヒアリングを行った。

○ヒアリング及びマップの配架道の駅 7ヶ所

- ・静岡県側：潮見坂、花桃の里、いっぷく処横川、くんま水車の里
- ・愛知県側：豊根グリーンポート宮嶋、鳳来三河三石、もつくる新城

○成果物

- ・道の駅ヒアリング報告（7駅）
- ・マップ（A3 両面カラー）8,000部
- ・ポスター（A2カラー）150部

ーコンテンツの収集や作成にあたって、三遠南信住民ネットワーク協議会と協働して作成した。



ポスター掲示



4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1) 中部ブロック「道の駅」連絡会事務局（受託事業） ※継続

ー中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わった。

ー総会（1回）、役員会（1回）、駅長会議（1回）、静岡県道の駅活性化会議（1回）に事務局として運営した。

※自主事業分

ー静岡県スポーツ交流課が、東京オリンピックに向けて本県をサイクリングの聖地とするため「静岡県サイクルスポーツ協議会」を設置し、「道の駅」連絡会事務局として参加した。



(2) 浜名湖魅力発信業務(静岡県委託業務) ※継続

ホームページの管理・更新

- ー浜名湖の自然、歴史、文化、観光、まちづくりなど地域資源を活かして、浜名湖の魅力を発信する活動や団体を紹介するホームページの管理・更新を行った。
- ー登録団体の新規登録の掘り起しを行い、活動を取材してHPに紹介した。

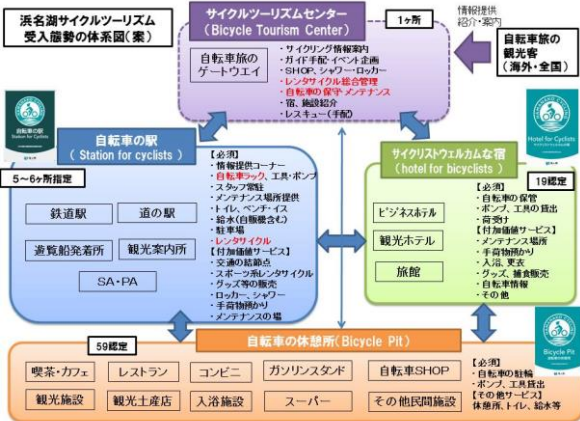
(3) 浜名湖サイクルツーリズム調査研究業務(委託事業) ※継続

- ー浜名湖サイクルツーリズム推進会議のメンバーとして関わり、サイクリストの受入れ環境をソフト・ハード面で整えていくための研究・計画づくりを行った(一部試行)。
- ーサイクリングの情報発信(HP、サイクリングマップ作成)
- ーサイン標識や矢羽根路面標示のデザイン及び内容検討(サイン計画の策定)
- ー受け入れ態勢の構築(Bicycle Pitやサイクリストウェルカム宿の募集・認定、レンタサイクルの一元管理研究)
- ーモーダルミックスの研究・試行
 - ・国土交通省社会実験(SAの舟運とサイクリングロードをつなぐための実験や道路空間の再配分の継続検証)
 - ・天竜浜名湖線の輸行バック貸出研究・提案
- ーガイドサイクリングの検証、骨伝導ヘッドフォンによる音声ガイドのモニター検証
- ー広域のサイクリング連携を図るための企画・調整(彦根市ほか)

浜名湖サイクルツーリズムの取り組み



受け入れ態勢整備 Bicycle Pitとサイクリストウェルカム宿 認定

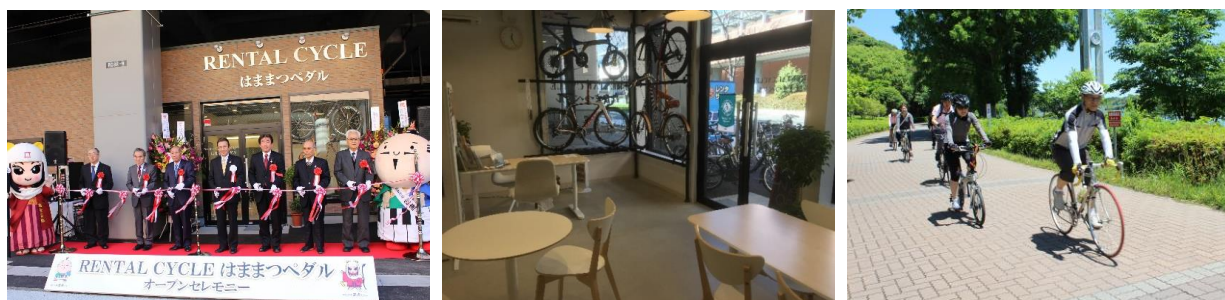


琵琶湖×浜名湖 サイクリング交流



(4) はままつ都市型レンタサイクル事業の実施(自主事業)

- ー浜松市中心市街地の活性化のため、新しいレンタサイクルの拠点と官民連携のシステムの研究に参加するとともに、浜松市や商工会議所観光コンベンションビューロー、商店街などと一緒に浜松駅前のJR高架下にレンタサイクルステーションを開設した。
- ー1/8 プレオープンイベント、1/21 オープニング (平成31年12月末までの24ヶ月の実証実験)
- ーレンタルの利用状況や利用者ニーズのデータ収集・分析
- ーガイド付きサイクリングの定期開催 (月1回)



(5) 静岡県西部実走調査(委託事業)

- ー静岡県サイクルスポーツ協議会が県内6エリアのサイクリングモデルコースを設定・実走調査を行う中で、西部地域(浜松市・湖西市)においてモニターによるサイクリングの実走調査を受託した。道路・交通、観光・景観、受入施設としてのスポット情報などを調査し、自転車の安全快適な走行環境に対する提案を行った。



○実走調査 1/28 湖西市「道の駅」潮見坂 ～ 三ヶ日瀬戸 約52km

(6) 東海道マーク作成(委託事業)

- ー旧東海道を歴史街道としてブランディングするため、静岡市および周辺市町で活用できる東海道を表示するマークをデザインし、活用のルールを整理した。
- ーマーク検討においては委員会を開催し、検討した。

(7) 三島商工会議所 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトへの参加(委員) ※継続

- ー三島商工会議所が日本商工会議所の地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトとして、東海道と下田街道・甲州街道がクロスする三島の「四ツ辻文化」を象徴する資源を掘り起し、新四ツ辻文化名物の商品開発を行うプロジェクト(2年目)の事業に専門委員として参加した。
- ーNPO法人全国街道交流会議と連携し、箱根八里の街道観光としてモニターツアーを行った。

(8) 箱根八里街道観光に関する取組への協力(自主) ※新規

- ー三島市・箱根町・小田原市の2市1町が国・県・経済団体や企業等と一緒に「街道観光」を推進するための組織「箱根八里街道観光協議会」を設立した。当法人としては、静岡2峠6宿街道観光協議会の事務局としてオブザーバー参加した。(協議会会議2回と幹事会3回)

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1) 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業(公募助成金) ※継続(拡充)

1) 見守り・相談支援

①相談受付・情報提供

- －窓口相談（住まい・就労・子育て・新聞の閲覧等）
- －電話での近況伺い、ニーズの聞き取り

②訪問・面談・・・県内全域 実績 13世帯19回実施

2) コミュニティ形成・促進支援

①避難者同士及び避難者と帰還者、交流・情報交換ツアー

- －避難者交流会（延べ10回 避難者の参加延人数 192名）

うち1回は10/22～23日 避難者交流ツアー（31名 1泊伊豆市・三島市・沼津市方面）

③ニュースレターによる情報発信

- －3回発行（静岡県内避難者へ静岡県から郵送）

3) 静岡県内の避難者団体や支援団体との交流・活動のサポート

- －ふくしま絆の会のサポート（掛川市）地域イベント参加サポートや交流会の開催
- －とみおか子ども未来ネットワーク、NPO臨床心理オフィスBeサポートとの交流



(2) みやぎ避難者帰郷支援センター(中部地区)運営業務(委託) ※継続

① 帰郷支援センターの開設・運営

- －宮城県からの依頼により、震災の影響で宮城県から東海・北陸。甲信越の中部地区 10 県への広域避難者に対し、生活再建や帰郷に向けた情報収集及び相談窓口（電話相談を含む）を開設した。当NPOの浜松事務所内にフリーダイヤルの支援センターは窓口を置いた。

② 相談会・交流会の開催

- －各地で避難者の交流会や相談会を合計6回開催（浜松市、静岡市、名古屋市、高山市、金沢市、福井県あわら市）。

③ 連絡調整会議への参加

- －支援機関（全国3地区）と宮城県の支援拠点（2地区）の連絡調整会議への参加（宮城県内で3回開催）



(3)ふれあい基金「避難者ふじのくに体験交流ツアー」(公募助成金) ※継続

- ー東日本大震災で静岡県へ避難された方が少しでも明るく、生きがいを持って暮らしていただけるための、交流会を開催した。※ふるさとふくしま帰郷支援事業
- ー実施：10月22日夕方～23日（日）三島市・伊豆市・沼津市（1泊） ※現地集合・現地解散



(4)復興支援団体との連携・活動支援(自主事業) ※継続

- ー東北震災を支援する市民団体「SAVE IWATE しずおか」やNPO法人くらしまち継承機構などへの支援と同団体と連携しながら復興支援活動を継続した。

(5)浜松市NPO災害協定ネットワーク会議への参加(自主事業) ※継続

- ー東海大震災に備えて、NPOが復旧・復興の活動の一部を市に代わって担うための浜松市とNPOが災害協定を交わし、ネットワーク構築の研究に参加した。

(6)浜松市UDアンケート調査（指名競争入札・委託）※新規

- ー浜松市のUD計画（基本計画の見直し）に市民や企業の意見を吸い上げるため、市民や企業にUDに関するアンケートを実施した。
- ー市民アンケート 2,500通発送（1,088回収）、企業アンケート 500社発送（162社回答）
- ーアンケートをクロス集計・分析し、報告書を作成した。

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)静岡地域学会の活動協力(自主事業) ※継続

- ー7/30 静岡地域学会の研究発表会に参加。

(2)日本風景街道大学福島校への参加協力(自主事業) ※継続

- ーNPO 法人日本風景街道コミュニティが開催する「日本風景街道大学（福島校）」に参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、風景街道に関する情報を収集した。
 - 日程 平成28年12月9日（金）・8日（土）
 - 会場 福島県いわき市
- ーNPO 法人日本風景街道コミュニティには、法人会員として加入し、山内が理事に就任。みちのコミュニティシンクタンクの事務局を浜松事務所に置くことになった。

【参考】地域づくりサポートネットが中間支援を行う団体

<日本及び広域>

- ・日本風景街道コミュニティ「みちのコミュニティシンクタンク」 事務局
- ・みやぎ帰郷支援センター中部地区（東海北陸甲信越の10県）
- ・三遠南信住民ネットワーク協議会 代表世話人と事務局（平成29年5月～1年間）

<静岡県全域>

- ・中部ブロック「道の駅」連絡会事務局 静岡県担当
- ・福島県県外避難者相談窓口（静岡県）

<静岡県東部地域>

- ・ぐるり富士山風景街道 静岡県事務局
- ・富士山朝霧高原景観管理協議会 事務局
- ・朝霧地区景観形成ワークショップ会議 コーディネート
- ・国道138号小山町須走地区・御殿場地区 コーディネート
- ・小山町巡拝の道づくり委員会 事務局
- ・なごみの伊豆・なごみの道風景街道 事務局

<静岡県中部地域>

- ・静岡2峠6宿街道観光協議会（風景街道） 事務局
- ・次郎長生家 管理運営者
- ・次郎長生家を活かすまちづくりの会(事務局)

<静岡県西部地域>

- ・はまなこ環境ネットワーク 事務局
- ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議 座長、作業部会事務局
- ・はままつ都市型レンタサイクル推進協議会 委員、拠点施設の管理運営